

▽取組事例名	民間企業との地域協働協定に基づく地域振興事業	▽取組期間	平成19年度～ (継続中)
		▽市町名	宇和島市

▽取組概要
宇和島市と民間企業であるANAグループが地域活性化について協働で事業実施にあたる「地域協働協定」を締結。ANAから地域づくりマネージャーの派遣を受け入れ、連携・協力のもと、観光資源や特産品の発掘・開発・販売・情報発信を行い、真珠を核にした地域ブランド化による魅力あるまちづくりに取り組む。

▽取組みの背景
地域に潜在する観光資源・特産品を発掘し、それらを活用した商品の開発に取り組むとともに、地域の観光・物産・文化等の情報を多様な手段をつかって全国に発信することにより、地域産業の振興と交流人口の拡大をはかり、地域活性化を図ることが必要とされていた。

▽取組みの狙い・具体的内容
(取組みの狙い) 民間企業（運輸業であるANAグループ）の特性を総合的に活用しながら、市と協働で観光資源や特産品の発掘・開発・情報発信を行うことにより、地域の活性化を図る。
(具体的内容) 市商工観光課にANA派遣の地域づくりマネージャーが常駐し、宇和島市と協働で各種の事業を展開した。 H19-H21 真珠を核にした地域ブランド化による中心市街地活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・真珠のイメージアップ運動（パールビズ運動）の推進 ・ANAとのコラボによるCAオリジナルジュエリーの販売 ・パールを活用・イメージした商品（化粧品・ご当地エステ等）の開発協力 ・宇和島市内で女性たちによる「まちづくりBeppin塾」を結成 ・ANAグループとの連携による各種広報媒体を利用した広報宣伝活動 H22-H24 宇和島を中心とした圏域の観光・物産振興 <ul style="list-style-type: none"> ・自主企画イベントを主管する地域住民グループのイベントコーディネート ・着地型観光の振興や地場産品の販路拡大 ・マネージャーの特性を生かした観光関連従事者等への接遇研修 ・市内観光業関係者との連絡会、地域まちづくり団体等への活動協力

▽取組みを進めていくなかでの課題・問題点（苦労した点）
地域活性化を進めるなかで既存のまちづくり団体とどのように連携・協力し、地域全体の底上げをしていくか。

☆工夫した点

事業の趣旨・内容を点検しつつ、採算ベースになりにくいものや地域貢献色が強く、かつ公益性が高いものをなるべく行政の手で、それ以外についてはなるべく民間でやっていただくようなことを想定して事業実施にあたっている。

▽取り組みの効果

「まちづくりBeppin塾」のメンバーの中から真珠を使った化粧品の販売やパールエステを実施する会社を起業するものが出るなど雇用の創出にもつながった。

また、これまで行政主導で実施していた「海の恋人まつり」が市民主体の実行委員会方式での運営に移行する際に中心メンバーとなるなど市民が主体となってまちづくりを行う動きが見られている。

さまざまな業種の地域住民が集まって市民主体型の着地型旅行商品を企画し、地元の旅行社との連携により新たなツアー商品が生まれ、かつ誘客実績も着実にあがるなどの成果もでてきている。

▽住民（職員）の反応・評価

パールビズ運動の開始などはマスコミにも取り上げられ、民間事業所などでも積極的に地元をPRできる運動として広がりを見せており、趣旨に賛同する地域住民は少しずつ増えてきている。

☆取り組み効果を踏まえたフォローアップ

地域づくりマネージャーや行政が主導で開始した事業も、行政がやるべき役割を終えたものについては、なるべく民間に委ねていくように努めているほか、事業の成果物を民間で利用促進させていくようにも努めている。行政は販路開拓や広報宣伝の部分で支援をしていく。

☆将来的な構想のほか、他団体へのアドバイス

平成24年3月に高速道路が宇和島に延伸し、記念イベント「南予いやし博」が開催され、全国的にも宇和島圏域が注目される機会が得られ、その「いやし博」の開催にあわせ、運輸業であるANAグループの支援を得ながら事業を展開することにより、観光・物産の両面において、より相乗的・発展的な効果が得られたものと考えている。

また、今まで取り組んできた事業の仕組みをなるべく民間に移行させつつ、今後は高知県の四万十川流域や姉妹都市など、新たな地域間連携を視野に入れて、「人と物が動く仕組み」をつくり、交流人口の拡大や地場製品の拡大に取り組んでまいりたい。